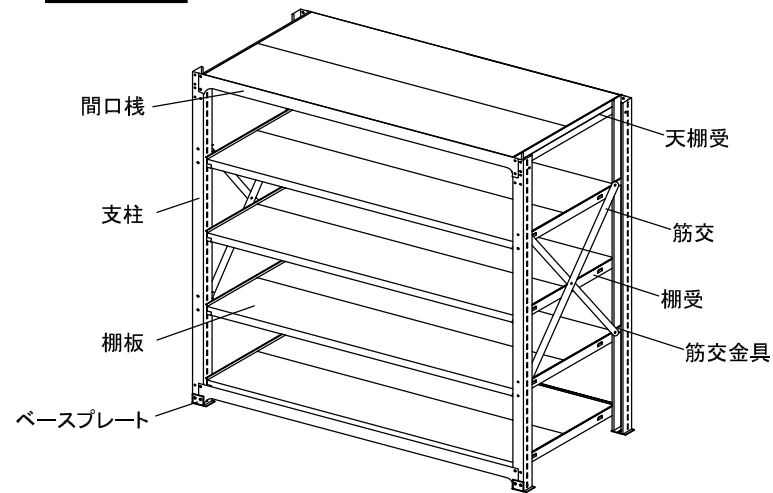


中量スタンダードラック組立説明書

右記の順に従って正しく組立を行って下さい。
 金属製品なので取り扱いには十分注意し手袋などの保護具を利用して行って下さい。(2名以上での組立を推奨します。)
 また、取扱説明書の注意事項等を遵守し、正しくお使い下さい。

完成図



構成部品

1台のセット内容

単体の場合	増連の場合
支柱 支柱×4本 	支柱 支柱×2本
間口棧 間口棧×4本 	間口棧 間口棧×4本
筋交・筋交金具 筋交×4本 筋交金具×8個 	筋交・筋交金具 筋交×2本 筋交金具×4個
棚板(1枚~5枚割) 棚板×(天地段数) 	棚板(1枚~5枚割) 棚板×(天地段数)
補強棧 ※500kg/段用のみ ×棚板と同数 	補強棧 ※500kg/段用のみ ×棚板と同数
天棚受・棚受・部品 天棚受×2本 棚受(天地段数-1)×2 ベースプレート×4個 ボルト・ナット×50組 組立説明書(本紙) 	天棚受・棚受・部品 天棚受×2本 棚受(天地段数-1)×2 ベースプレート×2個 ボルト・ナット×33組 組立説明書(本紙)

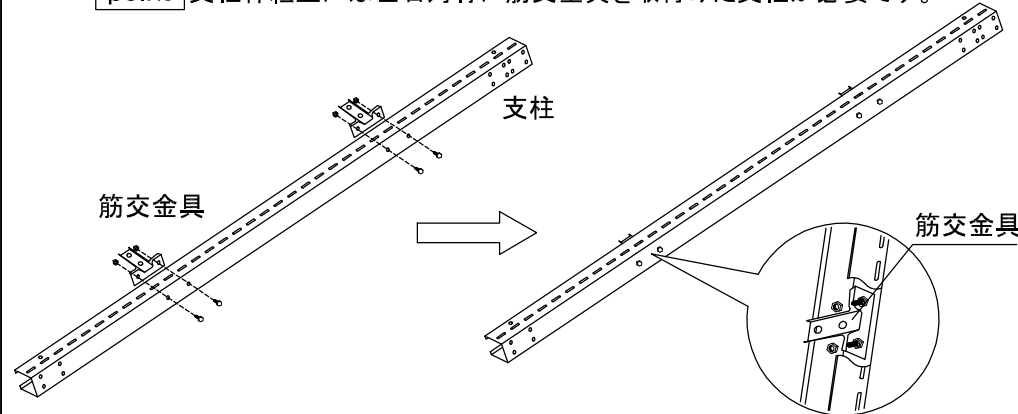
※組立時にはインパクトドライバーをご用意ください

組立手順

1 支柱枠組

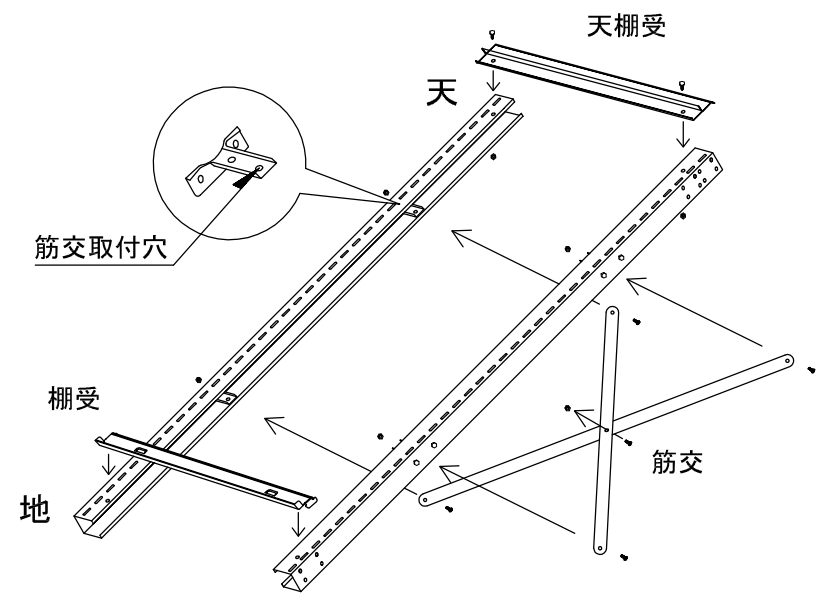
①すべての支柱に筋交金具をボルトナットにて2個ずつ取り付けます。
 この時、ボルトを柱外側から差込み、ナットを止めてください。
 また、筋交金具の向きが同一面になるよう向きに注意して組立ます。
 (単体:支柱4本、筋交金具8個 増連:支柱2本、筋交金具4個)

point 支柱枠組立には左右対称に筋交金具を取付けた支柱が必要です。

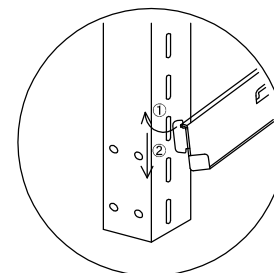


②支柱開放面側を内向きにして向き合せに床に並べ、支柱天部に天棚受をボルトナットにて仮止めし、筋交をたすき掛けにして中央の穴で1箇所のみボルトナットで仮止めする。筋交を筋交金具にボルトナットにて仮止めする。
 (単体:支柱枠2面、増連:支柱枠1面)

point 向き合せ時には筋交金具の向きが互いに同じになるように並べてください。

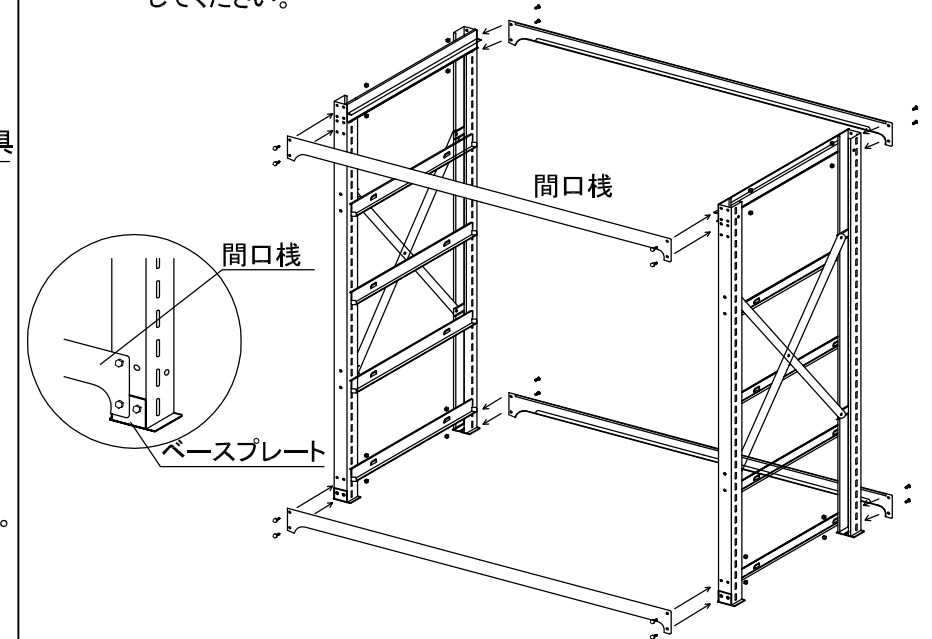


③最下段の棚受を支柱側面の棚受取付用の長穴に取付ける。(下から3つ目)
 この時、右図のように棚受の爪の頭を斜め上方向に差込み、爪全体が入った状態で下方向に落とし込む。



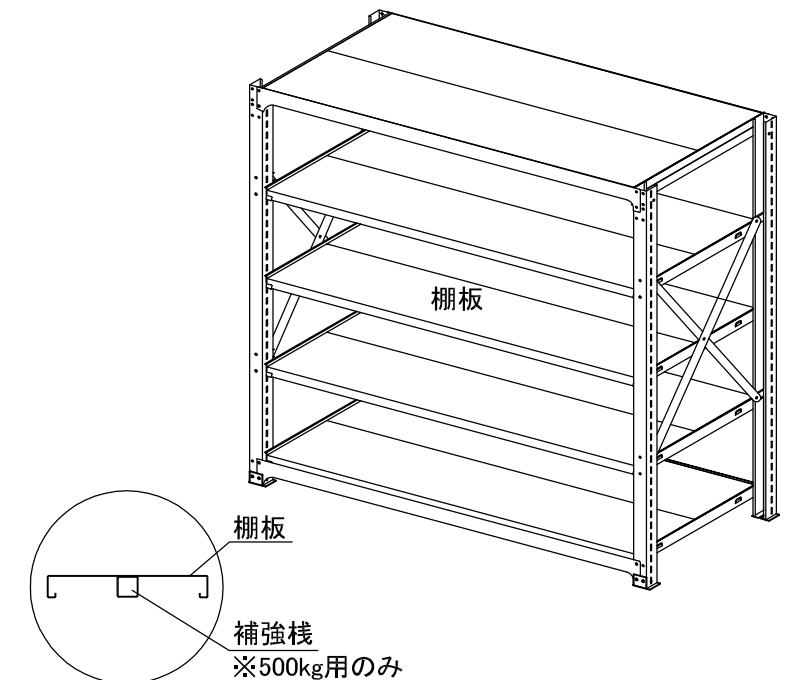
2 間口棧・棚受の取付け

①支柱枠2面を天棚受取付側を内向きに向い合せになるように立て起こし、支柱上下前後に間口棧をボルトナットで仮止めする。
 その際、下部側はベースプレートを先に配置し、挟み込みようにして間口棧が外側になるようボルトナットで仮止めします。
 ②棚受を支柱のスリット穴の任意の高さ位置へ左右同一になるよう取付ける。(50mmピッチにて段替えが可能。)
 ③全てのボルトナットを全体のバランスを取りながら本締め(増し締め)してください。



3 棚板の取付け

①棚板を最上段は天棚受に中段、下段部は棚受に載せませす。
 (奥行方向に330Dは1枚、480D・620Dは2枚、700D・770D・910Dは3枚、1200Dは4枚、1490Dは5枚並べます。[単位mm])
 ※[500kg用の時は棚板を載せる前に補強棧を天受、棚受に置き、棚板下部に納まるようにして棚板を載せてください。]



※組立は必ず広い場所で行って下さい。※床や製品の傷防止に梱包段ボールを床に広げてお使い下さい。